Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトマイセス グリセウス アミノペプチダーゼ I

Cat. No. NATE-0070

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	S. griseusからのアミノペプチダーゼIは、ほとんどのタンパク質のN末端残基を除去できるかなり広い特異性を持っており、ペプチド末端の残基がイミノ酸である場合を除きます。これは2つのZn2+結合部位を含んでいます。S. griseusからのアミノペプチダーゼIは1,10-フェナントロリンによって阻害され、Ca2+によって6倍活性化され、熱不活化に□しても安定化されます。この単量体亜鉛メタロプロテインの等電点（pI）は5.4です。
用途	ストレプトマイセス・グリセウス由来のアミノペプチダーゼIは、タンパク質構造の分析の試□として、またカルシウムイオンによるプロテアーゼ活性化の研究のモデルとして使用される可能性があります。合成基質を用いた二段階アッセイにおけるエンドプロテアーゼ活性の測定に試□として使用されることがあります。凍結乾燥粉末にはカルシウムアセテートも含まれています。
別名	アミノペプチダーゼ III; アミノペプチダーゼ yscI; ロイシンアミノペプチダーゼ IV; 酵母アミノペプチダーゼ I; EC 3.4.11.22; 9031-94-1; アミノペプチダーゼ I

製品情報

由来	ストレプトマイセス・グリセウス
形態	凍結乾燥粉末。カルシウムアセテートを含む
***EC*番号**	EC 3.4.11.22
***CAS*登□番号**	9031-94-1
活性	> 200 ユニット/mg タンパク質
等電点	5.4
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、25°C、3.0 mM基質濃度で、1分あたり1.0 μmoleのL-ロイシン-p-ニトロアニリドをL-ロイシンとp-ニトロアニリンに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C